

加盟団体



地震への準備と心構え、その為には訓練が重要です 訓練機能を搭載。有事への対策ができる一台！



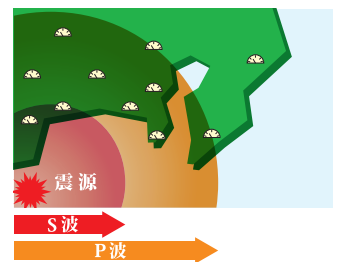
※小型スピーカーを内蔵しています。

- 1 FMラジオの放送を利用するので
インフラ費用は必要ありません
- 2 一般向け緊急地震速報を利用するので
速報受信料は必要ありません
- 3 常にラジオを聞いている必要はありません
速報のみを自動的に放送します
- 4 出力信号を出すことができる
既設の放送設備を活かして設置
- 5 **注目機能** 日頃の訓練が役立つ
避難訓練機能(ボタン)を搭載
- 6 より細やかな設定ができる
放送時間を設定できます(4段階)

緊急地震速報とは？

地震は、P波と呼ばれる弱い揺れのあと、S波と呼ばれる強い揺れが来ます。気象庁は全国各地に配置されている地震計でこのP波をとらえた観測データを解析し、震源や地震の規模(マグニチュード)を推定します。緊急地震速報とは、この情報を広く一般に発表する「早期地震警戒システム」です。

※直下型地震の場合や震源に近い地域の場合、P波とS波の到達時間の差がほとんどなく、大きな揺れが到達する前に緊急地震速報が放送されない可能性があります。



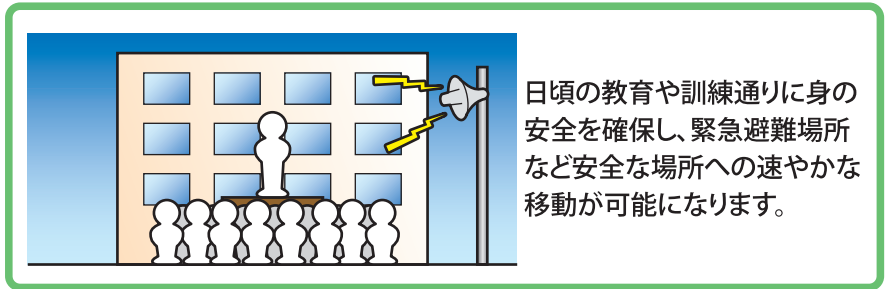
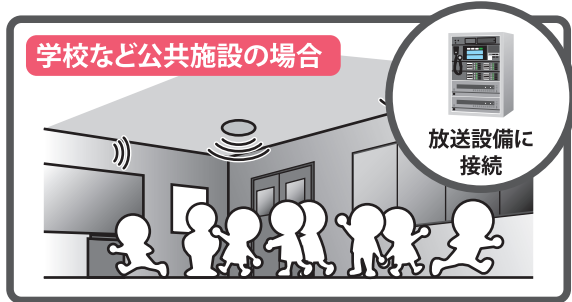
減災(げんさい)とは、災害時において発生し得る被害を最小化するための取り組みです。防災が被害を出さない取り組みであるのに対して、減災とはあらかじめ被害の発生を想定した上で、その被害を低減させていこうという考えです。今後、災害対策を行う際の重要なキーワードになりつつあります。

ご注意

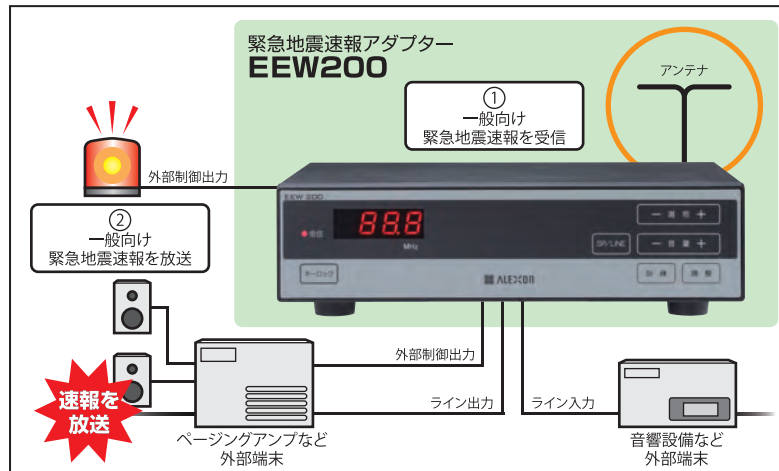
本機はNHKラジオで運用されている「緊急地震速報」を基に開発された機器です。本機の「緊急地震速報」受信動作については、製造メーカーである弊社にて十分な確認を行っておりますが、緊急地震速報を伝えるNHKラジオ、及び同手法で運用している各民放ラジオ局及び弊社が保証及び責任を負うものではありません。

アレクソンの緊急地震速報アダプターはここが好評

- 1 放送設備と連動でき、通常の放送から緊急地震速報の放送へ自動的に切り替えることができる
- 2 専用の回線や速報受信料などのランニングコストが要らない!
- 3 訓練機能があり、避難訓練でも使えて便利!



基本構成イメージ



仕様概要

チューナー部	
受信周波数	FM:76.0MHz~90.0MHz 実用感度30dBμ
F M アンテナ	ターミナル端子(外部アンテナ接続)
オーディオ部	
ライン入力端子	RCAピンジャック -22dBV/10kΩ
ライン出力端子	RCAピンジャック -10dBV~-60dBV以下(接続先のインピーダンスが5kΩの時)
内部スピーカー	モノラル0.5W
外部制御部	
外部制御出力端子	無電圧接点(メーク接点)方式×2回路 抵抗負荷:DC 30V, 1A
その他	
パネル部	FM表示:LEDランプ(赤)7セグメント4桁表示(マルチパネル)、シートスイッチ
電源	AC100V±10%(50/60Hz)
消費電力	緊急地震速報受信待機中3W以下 受信動作中:5W
外形寸法	210mm(W)×147mm(D)×61.8mm(H) ※背面端子の突起部含まず
質量	約1.2Kg
使用条件	温度:0~40℃ 湿度:20~80%(但し結露なきこと)
付属品	FMアンテナ、両面テープ(アンテナ固定用)、取扱説明書(兼保証書)
JANコード	4512877003160

取付けブラケットで、固定設置ができます。

取付けブラケット 型番: WB100 希望小売価格: 2,400円(税別) JANコード 4512877003108

●本機は一般向け緊急地震速報を受信して外部端末に送出する機器であり、常に音声を送出する機器ではありません。●本機は地震の予知および災害の軽減を保障するものではありません。地震が発生した時に速やかに行動できるよう、十分に避難訓練などを行ってください。●本機はバックアップ電源を有していません。電源が供給されていない場合、緊急地震速報をスピーカーに出力することはできません。●本機は緊急地震速報の冒頭で流れる報知音を2回連続で検出した際に、通報動作を行います。万、報知音が2回未満の場合や報知音が途切れたり、ノイズが混じって報知音を検出できなかった場合、本機は通報動作を行う事ができません。また、本機に設定した放送局が、深夜に放送設備のメンテナンス等で放送を一時的に休止することがあり、放送の休止で「緊急地震速報」を放送できない場合、本機も緊急地震速報の通報動作を行います。●一般向け緊急地震速報の告知放送を受信した場合、本機は実際の緊急地震速報と判断して、通報動作を行うことがあります。●地震に起因するすべての損失や損害、および事故に関しては責任を負いかねます。予めご了承ください。

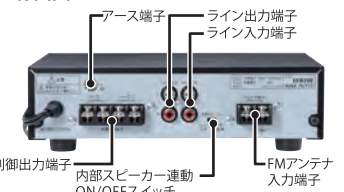
安全上のご注意

- 正しく安全にお使いいただくために、ご使用前には「取扱説明書」をよくお読みください。
- 水、湿気、ほこり、油煙等の多い場所や密閉された状態で設置しないで下さい。火災、感電、故障等の原因となることがあります。

正面図



背面図



株式会社 アレクソン

本社(兵庫県伊丹市)

〒664-0026 兵庫県伊丹市寺本3-207-1

TEL 072-777-1584 FAX 072-780-2060 IP-Phone 050-5507-5125

東京事業所

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-25-13 リンレイ日本橋ビル5F

TEL 03-3667-2276 FAX 03-3667-5329 IP-Phone 050-5501-9711

福岡営業所

〒819-0025 福岡県福岡市西区石丸2丁目40番8号

TEL 092-477-3677 FAX 092-477-3678

ホームページ <http://www.alexon.co.jp/>

